

中国の大地震の原子力関係の影響について（11）

20. 6. 13 10:30

原産協会国際部

四川省にある原子力施設への地震の影響について、関係機関ホームページ、プレスリリースを通じて得た続報を以下の通りお伝え申し上げます。

1. 関係機関ホームページ情報

(1) 中華人民共和国環境保護部（省）HP

2008-6-12

「環境保護部（省）は被災後の環境安全について専門家の意見を求めた
呉曉青副部長（次官）は環境管理と評価に全力をあげるよう要求」

（中文概要仮訳）

- ・ 環境保護部（省）呉曉青副部長（次官）は、本日招集した国家環境諮問委員会、同省科学技術委員会地震対策・救済座談会にて、被災地の環境状態は依然厳しいことから、関係部門は団結して作業にあたり、被災後の科学的環境安全評価を行うことを強調した
- ・ 呉曉青副部長（次官）は、新中国成立以来の大地震である四川地震の被災状況と対応を簡単に紹介した。
- ・ 同省は、地震後、環境安全を確保するため、「突発事故、原子力・放射線事故緊急対応作業」を発動。ただちに原子力安全の確保と放射線源の回収にあたった。
- ・ 同氏は、緊急対応はまだ終わらず、被災地の環境状況はなお厳しい。とくに次の4点について重点的に対応すると述べた。
 - ① 被災地住民の飲料水の安全
 - ② 化学薬品と危険物の環境影響管理の強化
 - ③ 原子力・放射線の環境安全の確保
 - ④ 被災後の環境監督・評価の建て直し

(2) 福清核電HP

2008-5-30

「中国核工業集团公司は八二一工場（広元市）の現場指揮所設置」（中文概要仮訳）

- ・ 5月27日、八二一工場の被災後の救済支援のため、中国核工業集团公司は同工場の現場対策指揮所を設置した。
- ・ 八二一工場現場指揮所は、国家国防科技工業局が指揮する。

2008-5-30

「康日新、虞列貴 が被災地で救済活動指揮」（中文概要仮訳）

- ・ 5月28日（水）午後6時、余震の続く中、中国核工業集团公司 康日新 党組書記、総経理、国防科技工業局 虞列貴 副局長一行は、同会社の八二一工場に到着、被災状況、生産の安全確保、職員労働者の生活などについて報告を受けた。
- ・ 康日新総経理は、現場を詳細に見て周り、被害状況を理解し、同会社に対し、同工場への支持と支援を求めた。
- ・ 同総経理に同行したのは、同会社 安全品質部主任、核燃料部副主任のほか、国防工業局、四川省国防担当など。

(3) 中国工程物理研究院HP

2008-6-10

「趙院長は、全幹部職員に対し、非常事態のなかで研究、生産の回復に全力をつくすよう求めた」 （中文概要仮訳）

- ・ 2008年第1回院務会議は、512地震の影響を受けることなく6月6日実施された。
- ・ 会議上、院幹部は所掌業務を総括し、関係部門も上半期業務報告と下半期計画を報告した。
- ・ 趙院長は、研究生産活動をできるだけ速やかに正常な状態にもどすため、土曜日を義務労働日とし、地震の影響による時間と損失の減少を最小限度に留めるよう提案した。

(4) 中国核動力研究設計院HP

2008-6-6

「康日新 総経理 来院、被災状況視察、慰問」 （中文概要仮訳）

- ・ 5月30日、中国核工業集团公司 康日新 総経理が同院を訪れ、被災状況を視察するとともに職員労働者を慰問した。
- ・ 同総経理は、同院関係者が被災対応の一方、積極的に八二一工場などを支援し、募金活動を行っていることを賞賛した。

2. プレスリリース

○ 国際原子力機関（IAEA）

2008-6-12

「地震後、中国は瓦礫のなかから放射能を選別-IAEAの訓練、機材が中国の放射線源回収を助ける」 （英文概要仮訳）

- ・ 四川地震後の中国当局の対応は速かった。
- ・ 2007年、中国で、IAEA技術協力プロジェクト「喪失放射線源の探索教育訓練」が実施されたが、四川地震後、その折寄贈された機器を利用して、中国人専門家が被災地における放射線源回収作業にあたった。
- ・ ウイーンの（国連・その他の国際機関代表）唐国強 中国大使は、6月のIAEA理事会で、

「地震直後、原子力施設、放射線源の安全確認のため中国関係当局の専門家が派遣された。全ての原子力施設は安全で管理下にあり、すべての放射線源は回収された。」と述べた。

以上